

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 令和 7 年 8 月 20 日 風楽里アルコーブにて		
当日あつまって頂いた委員の皆様		議 題
利用者	4 人	1 自己紹介
利用者家族（風楽里）	3 人	2 活動状況報告
// （笑楽日）	1 人	スライドショー
知見者	0 人	3 身体的拘束適正化検討委員会
市職員	1 人	
地域包括支援センター	1 人	
地域住民の代表者	1 人	
事務局	3 人	
職員介護従事者	2 人	

① 自己紹介

② 利用者様の日常の様子を、スライドショーや活動状況報告書を読みながら報告しました。

事務局・・・7月中旬までは行事や面会、外出が盛んに行われておりましたが、

18日から職員、利用者様、入居者様が、コロナに感染。クラスターとなり、
感染 BCP を発動、対応に追われました。幸いにも重傷者は出ずに、8月からは
通常業務を再開しております。この間、利用者様や、ご家族様、職員、
関係各所の方々に、ご迷惑をおかけしたことを、お詫び申し上げます。

地域の代表・・・6/22 避難訓練について内容を教えてください。

事務局・・・夜間想定で2人の夜勤者が、宿泊者と入居者様を避難誘導する訓練でした。

就寝中の方を起こしての誘導で、玄関土間へ集めて点呼までに
4分30秒かかっています。

ご家族・・・7/4のバリデーションについて教えてください。

事務局・・・風楽里から3名の入居者様と、職員1名が参加して、東山の利用者様と入居者様も
加わって進行役の講師の方と色々なテーマの話し合いの中から、隠された感情や
普段とは違う会話を楽しむ会です。

③ 身体拘束適正化検討委員会、

事務局・・・感染対策の為の行動制限・・・居室での過ごし方、ゾーン分け、面会等の中止など
により行動の自由に制限がかけられました。

特にグループホームは9名のうち7名が日を追って陽性となり、最終的には陰性者
2名が居室で過ごす。という事になりました。

ご家族・・・居室から出られないことは、身体拘束とまではいかないのではないのでしょうか。

ご家族・・・自分の職場でも同様に、自分で正しく手を洗えない方、病気の理解が乏しい方の看護はとても大変でした。

事務局・・・入居者様は、食事、排泄、余暇の過ごし方全てが日常と違うことの戸惑いや、体調が良くなっても出られない。理由自体を忘れてしまう。

職員も罹患してしまう。などのストレスがそれぞれかかりました。

ご家族・・・コロナがら類になっても変異株が流行ってきている。

行政にも地域への現状の情報発信等、して頂きたい。

事務局・・・今回は、直接的な身体拘束の事例ではなく、認知症の方に、気持ちの安定を図りながら、行動制限をお願いすることの事例として挙げさせていただきました。

以上 令和 7 年度 第 3 回 運営推進会議の報告とさせていただきます。

次回は 10/15（水）を予定しております。

報告者 伊丹